

基礎ゼミ2班

担当：伊織

発表者：

各章担当：

文責：

第2章 資料を探して集める

㊦学ぶための情報集め p. 32

大学では自分から学ぼうとする能動的な学習が求められる

- ・課題が出され、レポート作成のための情報収集
- ・ゼミなどで扱われるテーマについて、自分の理解を深めるために情報収集
- ・授業などで疑問や興味がわいた時、答えを探すために情報収集

㊦調べる対象についての予備知識を確認し、各メディアの長所、短所を知った上で情報を探すこと！

㊧メディアリテラシー p. 35

普段接する情報は、必ず作り手、送り手の価値観や意識のフィルタを通るため、それぞれの価値観や意識の相違は免れない

⇒インターネットではすべてにチェックが至らないため、虚偽、違法な情報が混在することもある。それを避けるためにも、あらゆる情報を読み解く「リテラシー能力」を身につけることが重要である

㊨用語の意味を確認する p. 38

⇒用語の知識が漠然としたまま情報収集をすると、本当に欲しい情報が曖昧になってしまう。

○情報収集源は下のようものが挙げられる

- ・フリー百科事典 *Wikipedia* <http://ja.wikipedia.org/wiki/>
- ・専門用語用の初歩的辞典
- ・「現代用語の基礎知識」「知恵袋」「イミダス」等、用語解説集
- ・索引や用語解説の豊富な入門書

㊦インターネットでの書き込み型辞書等には誤りが含まれている可能性があることを頭に入れておく必要がある

④本を探す p. 39

本を読むことで、雑誌や新聞・インターネットなどの断片的な情報にはない、体系的な知識を得ることができる

- ・図書館で本を探す
- ・他大学の図書館の本を探す
- ・(オンライン) 書店で本を探す

⑤雑誌や新聞などで探す p. 44

雑誌記事、学術論文を探す

- ⑩情報が焦点化され、量もコンパクトで有用性が高い
 - ⑪種類が多いため、調べにくい
- ⇒検索システムを用いることが望ましい

オンラインジャーナルの記事を探す

- ⑩時々刻々と情報が追加されるため、随時新しい情報を得ることができる
 - ⑪学会誌に掲載された論文の場合、メンバーでないと閲覧できないことがある
- ⇒そうした論文が読みたい時は、先生に相談してみる

新聞記事を探す

- ⑩国内外の出来事や状況、他の様々なテーマの情報を日々提供してくれる
- 詳細な情報を得たり時々刻々の変化を知ることができる
- 大学の図書館などで気軽に読むことができる
- ⑪内容が流動的で、視点の影響を受けやすい

⑥統計データを探す p. 46

官公庁が出す種々の統計、民間の研究所や調査会社が調べた統計データなどは、信憑性が高い

- ⇒こういった統計資料はインターネット上で公開されているものが多い
- 民間機関が提供する有料のデータベースであっても大学のサーバから利用できるものもある

Ⅶインターネットで調べる p. 46

検索エンジン→インターネットに接続しているサイトに載せられている情報を探すためのサイト (Google , goo , Yahoo)

検索結果が同一ではないので、複数のエンジンを使用すると良い

検索方法

キーワード検索

ⓐ手間がかからない

ⓑ膨大な数のサイトのリストがでてくるので、その中から適切なサイトを選び出さなければならない。

カテゴリー検索

ⓐ内容にそって選択範囲を狭めていくので、関係ないサイトや危険性の高いサイトに入る心配は少ない

ⓑ手間がかかる

※調べ物をするときは両方を活用したほうがよい

検索する前に確認すること

①調べようとする問題について、自分がどの程度の予備知識を持っているか
⇒検索する語の意味、問題の背景を確認する

②どういうサイトで調べればよいか

⇒①の確認をもとに、信頼できそうなサイトにあたりをつける

検索を終える前に情報の質を確認する

情報を掲載しているのは、どういうウェブサイトなのか

⇒企業のものか個人のものか、サイトの作成者等

サイトについて、掲載している情報の出所の説明があるか

いつ掲載された情報か？情報は新鮮か？

情報の確認をする理由

⇒いい加減な情報や誤った情報を鵜呑みにして、その結果何かしら被害を被った場合、その責任は情報の信頼性を確認しなかった自分に帰せられるから

㊦集めた情報を使う p. 51

- ・無断利用は犯罪

⇒集めた情報を利用してレポートを書くときには、その情報をどこから得たのかを明示しなければならない。文章や図表を丸写しにして、あたかも自分が書いたかのように見せかける行為は剽窃という犯罪になる

こうしたことにならないよう、見つけた情報を使うときには、引用という手順を踏む。これは、大学で提出をする文章を書くときの鉄則である

㊦インターネットの情報を蓄える p. 53

- ・インターネットで情報を探るのは、宿題やレポートのとどまらず自身の興味のあることや、予習復習などに大いに活用できるので、有益な情報の探し方を学んでおくべきである

- ①よく使用するサイトのURLはお気に入り(ブックマーク)などに登録しておくとうまい
- ②ウェブ上でどこからでもブックマークが残せるサービスを使うと更に効率的である
- ③大切な情報は自分のファイルにバックアップを残しておくことが安全
- ④ネットは随時更新されているため、RSSリーダーなどを利用し、情報を効率よく入手する

㊦その他の方法 p. 54

- ・友人は一番近い情報源である。協力しあって探したり、交換することはリテラシー能力の向上にも役立つ。しかし、教えてもらうだけではなく、ギブアンドテイクの関係になることが望ましい

㊦終わりに p. 55

- ◎自分で学ぶということは、こういったさまざまな方法を自分で組み、得られた情報をもとに自分で考え結論を出していくことである。そうすることで、本来の意味での学習が可能となる
- ◎調べたことはこまめにメモを取ることが大切である。手書きでもデータでも、後に利用できるようキーワード等は残しておくように心がける。ノートをとることも情報を残すことの一環として重要である。
- ◎情報は見つかったときから本当の学習が始まる。得られた情報を吟味し、批判し、裏づけをとり、本当に有用な情報を選び出して、不要な情報は捨て、またそうした情報を分析し、そこから自分の見解を導き出すこと、それこそが本来の学習なのである。